

平成27年度 施策評価表

	課・グループ名	都市整備課土木グループ
作成年月日：平成28年9月1日		

施策名	④雪に強い生活環境づくり 5-1-④		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり	(1) みどりあふれる快適な都市環境づくり	④雪に強い生活環境づくり
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●町民が冬期間快適な生活を送れるよう、地域との連携を図りながら、適切な除排雪体制を整えます。 ●地域援助排雪事業の普及のため、広報誌・行政区長会議等で情報を提供します。 ●除排雪機械の計画的な更新により、効率化を図り除排雪費用の削減に努めます。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ●冬期間の住民生活を守るため、除排雪計画に基づき除排雪作業を実施しています。 ●団地内の生活道路の排雪については、地域住民と協力して地域援助排雪事業に取り組んでいます。 ●除排雪機械が老朽化しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●除排雪事業は、町民の理解と協力が必要です。 ●地域援助排雪事業は、地域により活用に開きがあるため、未実施地域への普及啓発を促進する必要があります。 ●除排雪機械が老朽化していることから、重大な故障などが考えられるため、計画的な除排雪機械の更新が必要です。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名			数値化
	・当該年度における除雪延長を成果指数として設定している。			成果指標 (総合計画・施策評価)			可 能
							不 可 能
							未計測
				代替指標 ※成果指標がない場合			指標の設定
			町道除雪延長(車道+歩道)			○ 可 能 □ 不 可 能	
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H24	H25	H26	H27	H28	
目 標	km	228.3	228.3	227.4	227.0	227.0	
実 績	km	228.9	227.2	227.4	227.0		
達成率	%	100.3	99.5	100.0	100.0		
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)			施策の達成度	団地内の堆積が難しく今後、団地内の生活道路を確保するため、地域援助排雪を含め町の実施する排雪を体制の検討が必要である。	
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)			B		
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H27)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	実績					H27実績	H28予算	
					単位								
1	地域援助排雪事業	(1)	都市整備課	排雪延長(km)	—	km	町内会・町内会班単位及び路線単位(交差点から交差点)で行い、町及び申請者(町内会等)が経費の2分の1ずつを負担する。	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	0	500	普通
					0.0	km							
2	雪寒機械導入事業	(1)	都市整備課	除排雪機械更新台数	除雪ドーザー 1	台	冬期間の町道等の除排雪計画に基づき、降雪災害等から交通体系と公共施設等の機能を確保し、効果的かつ経済的に除排雪を行う。尚、道路等の維持管理についても実施する。	Ⅱ	Ⅰ	1 現状のまま継続	20,876	0	普通
					除雪ドーザー 1	台							
3													
4													
5													

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H27事業費	20,876
H28予算	500

②H28に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	<ul style="list-style-type: none"> 地域と一体となった除排雪の推進するため地域援助排雪を継続する。 老朽化している除排雪機械は計画的な更新が必要である。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の妥当性 B	

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降の予算の方向性	
			A						
			B	2					拡大
			C	1					維持
			D						縮小